

令和7年度

看護学研究科（博士後期課程）

問題・出題の意図・解答のポイント

令和7年1月12日

高知県立大学大学院

小論文

問 看護研究において、他の学問分野と協働することの必要性和課題について説明してください。その上で、他の学問分野との協働を促進するための方略について、あなたの考えを論述してください。

(200 点)

<出題の意図>

この設問を通して、他の学問分野と協働することの必要性和課題をどのように理解しているかをみる。また、論述を通して、論理性、抽象的思考力、分析力、独創性をみる。

<解答のポイント>

他の学問分野と協働することの必要性として、人に関わる複雑な看護現象の解明、他領域の知識や技術の統合による新たな看護の創造などを説明していること。課題として、専門用語や研究手法の差異からくるコミュニケーションの困難さ、看護の専門性の向上と他領域からの学びのバランスのとり方などを説明していること。その上で、協働を促進するための方略について、自らの考えを論述していること。

英語

I 次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(50 点)

出典：Cummings, Steven R. and Kanaya, Alka M. : 2 Conceiving the Research Question and Developing the Study Plan: Browner Warren S. : *Designing Clinical Research Fifth Edition*, Wolters Kluwer, 2023, p.17 より抜粋

<出題の意図>

大学院博士後期課程において、看護学を探究するために必要となる英語専門雑誌の内容を理解するための基礎的な英文読解力をみる。

問1 research questionについて筆者はどのように述べているか、要約してください。

(25 点)

<解答のポイント>

以下の内容を含んでいること。

- ・リサーチ・クエスチョンとは、研究者が研究で解決したい不確実性のことである
- ・良いリサーチ・クエスチョンはたくさんあり、いくつかの答えが得られても他の疑問は残ったままである
- ・リサーチ・クエスチョンを発見する上での課題は、まだ答えの得られていない重要な課題を定義し、それを実現可能で倫理的かつ有効な研究計画にすることである
- ・実績のある研究者は、自身の先行研究やその分野の他の研究者による知見などから研究課題を見つけられるが、新米の研究者はこれらの経験の基盤を持っていない
- ・新鮮な視点は、古い問題への新しいアプローチを思いつくことを可能にすることも
あるが、経験不足はその妨げとなることが多い
など

問2 どのようにすれば良い research question を導くことができると考えますか。筆者の記述も参考にして、あなたの考えを述べてください。

(25 点)

<解答のポイント>

提示された英文をふまえ、自らの考えを述べていること。

Ⅱ 次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(50 点)

出典: Okunji, Priscilla O.: Chapter 1 Informatics in Today' s Healthcare: *Nursing Informatics Connecting Technology and Patient Care*, First edition, Cognella, 2019, p.6 より抜粋

<出題の意図>

大学院博士後期課程において、看護学を探究するために必要となる英語専門雑誌の内容を理解するための基礎的な英文読解力をみる。

問1 ヘルスケアに情報学がもたらすメリットについて、筆者はどのように述べているか、要約してください。

(25 点)

<解答のポイント>

以下の内容を含んでいること。

- ・ 文書化が改善され、記録に使っていた時間を短縮できる
- ・ 記録におけるミスを減少させることができる
- ・ 一度入力したデータを利用者のニーズに応じ取り出すことができる
- ・ 患者のデータを質の管理と研究の両方に使用することができる
- ・ 埋もれていたデータを簡単に検索することができる
- ・ ケア提供者のコミュニケーションが容易になり患者のケアの質が向上するなど

問2 情報学のメリットを活かすためにはどのような取り組みが必要か、筆者の記述も参考にして、あなたの考えを述べてください。

(25 点)

<解答のポイント>

提示された英文をふまえ、自らの考えを述べていること。